

## 「種をまこう」を活用した授業 ～中央中学校～

「みんなのヒーロー」という人権作文を読んで感じたことなどを紹介します。

手押し車とともにバスに乗車するおばあさんが、乗車に時間がかかってしまうので、乗客の何人かはため息をつき、無言の圧力を放ち、声をかける人は一人もいません。おばあさんはいつからか「すみません」と言いながらバスに乗るようになりました。

そんな暗い状況の中、ある日ヒーローのおじさんが現れます。おじさんは、「手伝いますよ。」とおばあさんに声をかけ、手押し車を軽々と持ち上げて、席を譲りました。おじさんの行動は、バスに乗る人たちに意識を変え、バスの車内は優しい暖かい雰囲気になっていきました。主人公はおじさんから勇気をもって行動する強さを教えられた・・・という内容の人権作文です。

・一度だけ、このバスに乗ったおじさんの強さが心に残りました。1人の勇気ある行動で、周りのみんなのいつもの暗い雰囲気が優しくあたたかい雰囲気になるということに、とても感動しました。誰にでもある出来ないことを、みんなで補い合う大切さがよくわかりました。

私はこの授業で、今までの自分に後悔しました。下校中にいじめられている小学生を一度見たことがあり、その時は怖い雰囲気から助け出すことができませんでした。この作文を読んで、どれだけ怖いことがあっても自ら正しい行動をおこすことは周りの気持ちや雰囲気も明るく出来るのだと気づきました。これからは周りに流されず勇気をもって行動したいと思いました。

(作文の続き・最後のまとめ部分を書きました。)

私は困っている人を助けられる思いやりのある社会にしたいと思いました。みんなが周りの雰囲気に流されずに勇気をもって自ら行動すると暗い雰囲気だったところにも優しい思いやりにあふれる暖かい雰囲気になると思います。だから、自分は周りに流されずに声をかける勇気をもって生きようと思いました。

・社会の思いやりを広げていくためには、自分が勇気を出して行動することが大切だと思いました。おじさんのように自分が一番最初に行動できるようにしたいと思いました。

今日の授業を通して学んだことは、勇気を出して行動することです。以前、電車の中で老年の方に席を譲ったという経験があります。その時は1人だったので、譲るまではなかなか勇気が出ず、行動に移せませんでした。今となって考えてみると、あの時勇気を出して行動が出来て良かったなと思います。筆者も言っていましたが、お互いに助け合うことはすごく大事ななと思いました。

(作文の続き・最後のまとめ部分を書きました。)

このようなことが社会全体に広がっていけば、この世の中が困っている人が助けられ、やさしさと思いやりのあふれる社会になっていくと思います。そうすればきっとみんなが心あたたまり、みんなが暮らしやすい世の中へとなっていくでしょう。

そんな社会にするために、一員である私に出来ることは、自分が一番初めに行動することです。何事も一番初めに行動することは難しいことだと思う。誰もがやりたくないと思うはずですが、今回それをやってくれたのがおじさんでした。おじさんがバスの雰囲気を変えたといっても過言ではありません。そんなおじさんのように、私も社会に影響を与えられるような人になりたいです。

